

石原助熊・よし関係文書目録

●資料番号1~21番 原資料で閲覧。請求票には原資料の番号をお書きください。

●資料番号22番 マイクロフィルムまたは冊子複製版で閲覧。請求票には、次のようにお書きください。

マイクロフィルムをご希望の場合：

「石原助熊・よし関係文書」リール1

冊子複製版をご希望の場合：

「石原助熊・よし関係文書」冊子複製版

2013.10目録作成

2017.5 第2次公開分目録作成

国立国会図書館憲政資料室

石原助熊・よし関係文書目録【凡例】

- ・目録作成者の推定部分には〔 〕を付してこれを区別した。

石原助熊・よし関係文書目録【目次】

1 書簡の部	p.1
1-1 石原助熊宛書簡	p.1
1-2 石原みね・近義・よし宛書簡	p.2
2 書類の部	p.2
3 第2次公開分	p.4

石原助熊・よし関係文書目録

資料 番号	枝番 号	標題	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	付属 資料	数量
【書簡の部】											
1 石原助熊宛書簡											
1		西園寺公望書簡	西園寺公望	石原助熊	[大正]7年4月6日	石垣之義山川氏再調査至極好都合、御帰館の上恩田君より御聞取下された い、水口屋の分は直接に渡し置く、池田杉山両氏の分は御留守宅にお預けし た	墨書				1通
2		西園寺公望書簡	西園寺公望	石原助熊	大正7年4月16日	絵はがき接手、石垣の事も都合好く運び感謝、両三日中に京都へ出かける、 隣家借地契約の件、やはり小生の名にて約束方が宜しい、書類捺印のため京 都へ郵送願う	墨書				1通
3		西園寺公望書簡	西園寺公望	石原助熊	[大正7年]12月30日	橋本源蔵と申者伺候節は御引見下されたし、小生留守中別荘普請に関し願 置いた者	墨書				1通
4		西園寺公望書簡	西園寺公望	石原助熊	[大正]8年11月9日	小生来十三日迄在京、十四日朝京都へ参る、西隣地は全部手に入れたく希 望、十三日迄に御来訪下されば大幸	墨書				1通
5		西園寺公望書簡	西園寺公望	石原助熊	[大正]8年11月28日	御来書の趣委細承る、此地銀行住友銀行支店より五千円丈御手許へ差出 す、来る月六七日頃借地へ罷出心算、登記に関する書類此地に御遣願う	墨書				1通
6		西園寺公望書簡	西園寺公望	石原助熊	[大正]8年11月29日	鈴木氏破談の地所の買い入れはやめにしたい、御面倒(働)恐悚	墨書				1通
7		西園寺公望書簡	西園寺公望	石原助熊	[大正]10年4月12日	東隣地上権の義は恩田君斡旋にて滞りなく済んだ、貴名の銀行通帳も水口 屋へ返却、小生は明日より京都へ 牧野宮相へ御伝声依頼	墨書				1通
8		西園寺公望書簡	西園寺公望	石原助熊	[大正] 年2月27日	地所の件再考、旧旅館の便利ならんか	墨書				1通
9		西園寺公望書簡	西園寺公望	石原助熊	[大正] 年3月23日	水口屋主人来訪、所有地所買取にてよろしく云々、右は彼の相撲場、価も廉 なるや、今後ご相談したく訪問願う	墨書				1通
10		西園寺公望書簡	西園寺公望	石原助熊	[大正] 年12月28日	小生歯痛も大分快し、ご都合の時に例の地所へ御同行願度、明日以後何日 にててもよろしい	墨書				1通

石原助熊・よし関係文書目録

資料番号	枝番号	標題	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	付属資料	数量
11		西園寺公望記入空封筒	西園寺公望	[石原助熊カ]	[大正6年カ]	昨日申入れた小切手封入、御査収下されたい、委任状は只今落手、捺印封入宜しく願う(封筒表)	墨書				1枚
12		紙片(「西園寺公ノ興津坐漁荘ニ関する手紙」)			[大正]		墨書		もと1～11と一括カ		2枚
13		東郷平八郎書簡	東郷平八郎	石原助熊	2年7月20日	メルン(メロン)感謝、本日より園田氏御地へ、御令息様へよろしく	墨書				1通
2 石原みね・近義・よし宛書簡											
14		石原ミネ子金子贈与添状 石原助熊(箱入)	大久保利通	石原みね	明治2年2月	金子百兩贈与	墨書			包紙、1組	1巻
15		西園寺公望書簡	西園寺公望	石原近義	[大正]6年5月4日	委任状其他書類接手、別紙小切手封入、興津の銀行は千円以上の用意無し、水口屋に金の件依頼	墨書				1通
16		牧野伸顕書簡	牧野伸顕	石原よし	[昭和]18年6月5日	過日和田兼作画伯と同席、わすれみつの余部御座候はば一部御送り願う	墨書				1通
【書類の部】											
17		写真(西園寺公望肖像) (額入)			[昭和5年頃]	「石原老兄直藏 西園寺公望年八十又二」と直筆書入あり(額入)	写真	Photograph Artistic 台紙			1枚
18	1	佛心報国 妙法蓮華経 一	石原よし		昭和16年12月8日～ 昭和17年1月31日		墨書、朱書				1綴
18	2	佛心報国 妙法蓮華経 二	石原よし		昭和17年2月1日～昭和 17年3月31日		墨書、朱書				1綴
18	3	佛心報国 妙法蓮華経 三	石原よし		昭和17年4月1日～昭和 17年9月3日		墨書、朱書				1綴
18	4	佛心報国 妙法蓮華経 四	石原よし		昭和17年9月1日～昭和 17年10月10日		墨書、朱書				1綴
18	5	佛心報国 妙法蓮華経 末 巻	石原よし		昭和17年10月15日～ 昭和18年1月28日		墨書、朱書				1綴

石原助熊・よし関係文書目録

資料番号	枝番号	標題	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	付属資料	数量
19		〔石原よし作成目録〕(複製コピー)				もと1冊を複製	電子式複写(墨書)				13枚
20	1	写真コピー(石原みねとその姉)	遠藤信行 (大磯写真師)[撮影]			もと縦12.7cm/横 8.3cm写真の表裏を複製	電子式複写(写真)				2枚
20	2	写真コピー(石原みね)			大正7年12月之写	もと縦13.7cm/横8.1cm写真の表裏を複製	電子式複写(写真)				2枚
21		行幸の歌記念置物(箱入)							木製		1点

石原助熊・よし関係文書

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	数量
【第2次公開分】			<p>●22番の資料は、表面に写経、裏面に書簡が貼りこまれた8巻の卷子本からなります。 ●背面の書簡についてはマイクロフィルム及び冊子複製版がありますので、請求票に次のようにお書きください。 マイクロフィルムをご希望の場合:「石原助熊関係文書」リール1 冊子複製版をご希望の場合:「石原助熊・よし関係文書」冊子複製版</p>						
22			写経書状箱 1箱						
22	0		木箱・紙箱				もとこの中に22-1～8の卷子本8巻(表面に写経、裏面に書簡貼込)あり		紙箱1箱、木箱1箱
22	1		妙法蓮華経巻第一						1巻
22	1	1	高橋是清 書簡	高橋是清	大久保和喜子	[大正]9年10月25日	賀状用意願う	墨書	1通
22	1	2	石原助熊 書簡	石原助熊	田中光顕	[明治41年]9月19日	結婚祝いに両陛下より拝領の袴地一反別に小包で進呈	墨書	1通
22	1	3	石原助熊 書簡	石原助熊	東郷平八郎	2年7月14日	メロン礼状	墨書	1通
22	1	4	西園寺公望 書簡	西園寺公望	石原助熊	9年12月26日	掛物礼状	墨書	1通
22	1	5	牧野伸顕 書簡	牧野伸顕	石原よし	1月11日	別冊送付	墨書	1通
22	1	6	香川敬三 書簡	香川敬三	石原助熊	4月10日	昨日清見寺にて宮中の御話、新聞屋などには御他言なきよう恩田の奥様にも御注意されたい	墨書	1通
22	1	7	樺山資紀 書簡	樺山資紀	石原助熊	[明治45年カ]4月13日	狩猟、アスパラガス栽培の件	墨書	1通
22	1	8	山岡鉄太郎 書簡	山岡鉄太郎	石原近義	明治15年3月	天龍寺への寄附依頼	墨書	1通
22	2		妙法蓮華経巻第二						1巻
22	2	1	山之内一次 書簡	山之内一次	石原助熊	[明治]40年1月3日	昨日御話感謝、昨夜は荒川君と小生のみ、福井産蟹御笑納下されたい	墨書	1通
22	2	2	岡田良平 外6名 書簡	岡田良平 外6名	石原助熊・宮之原健輔	[明治]40年1月6日	過日の厄介御礼、恩田場長病気見舞	墨書	1通
22	2	3	菊池心海(仙寿院) 書簡	菊池心海(仙寿院)	石原よし	17日	清野さんからの海苔御礼 含墨画	墨書	1通
22	2	4	前田市子 書簡	前田市子	石原よし	昭和10年カ7月26日	短歌、近況	墨書	1通

石原助熊・よし関係文書

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	数量
22	2	5	間宮英宗 書簡	間宮英宗	石原よし	[昭和]10年10月10日	朝鮮から帰路	墨書	1通
22	2	6	横井時敬 書簡	横井時敬	石原助熊・よし	[明治]42年3月19日	礼状、荊妻御地滞在中御礼	墨書	1通
22	2	7	石原助熊 書簡	石原助熊	石原よし	21日	近況報告	墨書	1通
22	2	8	石原近義 書簡	石原近義	石原寛遊・石原助熊・石原直左衛門	3月4日	当地親族元気、家禄増産	墨書	1通
22	2	9	石原寛遊 書簡	石原寛遊	石原直左衛門	[明治]8年8月8日	親族近況	墨書	1通
22	2	10	玉利喜造 書簡	玉利喜造	石原助熊	[大正]4年7月3日	出水見舞御礼	墨書	1通
22	2	11	山田三良 書簡	山田三良	石原助熊	[昭和]9年10月12日	出発を7日に、小野塚総長の訪問至極結構、来る11月9日か13日頃最初の発起人会御開催	ペン	1通
22	3		妙法蓮華経卷第三						1巻
22	3	1	石原口熊 書簡	石原口熊	石原助熊	[昭和]7年5月22日	療養中御高配感謝	墨書	1通
22	3	2	西郷従徳 書簡	西郷従徳	石原助熊	1月10日	従者に貴試験場拝観許可感謝	墨書	1通
22	3	3	木戸孝正 書簡	木戸孝正	石原助熊	2月27日	貴地滞在中御高誼御礼、野鴨進呈	墨書	1通
22	3	4	二荒芳徳 書簡	二荒芳徳	石原助熊	[大正]5年3月29日	過日は停車場にて失礼、山茶花御礼、5月には香気馥郁と今から楽しみ	墨書	1通
22	3	5	豊川良平 書簡	豊川良平	石原助熊	[大正]5年7月13日	三男貞三郎御試験所採用以来御示導感謝	墨書	1通
22	3	6	寺島誠一郎 書簡	寺島誠一郎	石原助熊	[明治]42年2月17日	高橋氏、松平頼親君近況、奈良原男爵は豪傑、近頃重野博士講和会やら薩摩出身議員懇親会等にて御演説拝聴	墨書	1通
22	3	7	小笠原長生 書簡	小笠原長生	石原助熊	8月30日	果物御礼	墨書	1通
22	3	8	一條実輝 書簡	一條実輝	石原助熊	[大正]3年2月7日	恩田君への言伝御礼、好物恵与御礼	墨書	1通

石原助熊・よし関係文書

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	数量
22	3	9	下山英五郎 書簡	下山英五郎	石原助熊	[昭和]9年9月28日	21日の暴風雨大阪方面の被害甚大、関東大震災当時の夫れにも比較すべき程のもの	墨書	1通
22	4		妙法蓮華経卷第四						1巻
22	4	1	小川千枝子 書簡	小川千枝子	石原よし(京都清野別荘方)	[明治]42年8月23日	大阪大火のこと	墨書	1通
22	4	2	清野連 書簡	清野連	石原よし	大正3年6月3日	熱海で三保ちゃん、うなぎ御礼	墨書	1通
22	4	3	真浄(清見寺) 書簡	真浄(清見寺)	石原	12月22日	先頃の親切感謝、返礼品の送付状	墨書	1通
22	4	4	坂上宗詮(京都花園妙心寺退蔵院) 書簡	坂上宗詮(京都花園妙心寺退蔵院)	石原	大正元年9月16日夜	病院長診察の御厚情感謝	墨書	1通
22	4	5	古川大航 書簡	古川大航	石原よし	2日	本野様本日御来山	墨書	1通
22	4	6	建部遯吾 書簡	建部遯吾	恩田[鉄弥](所長)・石原[助熊](技師)	[明治]39年8月2日	過日興津半日清遊の際御礼	墨書	1通
22	4	7	古在由直 書簡	古在由直	石原助熊	[明治42年カ]10月3日	貴下韓国行の件、大西と云う葡萄栽培家の旅費、煙害調査の旅費	墨書	1通
22	4	8	川上漸 書簡	川上漸	石原よし	[昭和]9年1月28日	写経の書き方	墨書	1通
22	4	9	俵孫一 書簡	俵孫一	石原助熊	2月10日	昨日奈良原邸に訪問	墨書	1通
22	4	10	間宮英宗 書簡	間宮英宗	石原よし	8年2月3日	手紙御礼、25日以降講話が続く	墨書	1通
22	4	11	阪本鈺之助 書簡	阪本鈺之助	石原助熊	2月26日	先日より悪性感冒、本日より例のホテル、今日当地引き払う	墨書	1通

石原助熊・よし関係文書

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	数量
22	4	12	福羽逸人 書簡	福羽逸人	石原助熊	[大正]5年4月12日	イチジクブラウンターキー苗木は全部配布済の由、書類急ぎご送付願う	墨書	1通
22	4	13	園田孝吉 書簡	園田孝吉	石原助熊	[大正]3年2月13日	果樹苗木深切なお申し越し謝す	墨書	1通
22	4	14	清野謙次 書簡	清野謙次	石原よし	昭和9年4月26日	写経小包受け取った、製本させる。反故供養には生存者の手紙を交せて張り込んで差支えない	墨書	1通
22	5		妙法蓮華経巻第五						1巻
22	5	1	本田幸介 書簡	本田幸介	石原よし	1月24日	親族近況	墨書	1通
22	5	2	都筑馨六 書簡	都筑馨六	石原助熊	[明治]45年7月15日	出産祝	墨書	1通
22	5	3	奈良原繁 書簡	奈良原繁	石原助熊	[明治]45年7月6日	男子御安産の吉報誠に結構	墨書	1通
22	5	4	日高壯之丞 書簡	日高壯之丞	石原助熊	5年4月29日	調合薬御礼	墨書	1通
22	5	5	福羽逸人(宮内省) 書簡	福羽逸人(宮内省)	石原助熊	[大正]6年3月23日	萃菓の早熟種アレキサンダー号苗木二三十本盆栽	墨書	1通
22	5	6	清野勇 書簡	清野勇	石原助熊	[明治]45年7月6日	美子安産、御安悦之事と推察、朝鮮の白菜種子御送付有難い	ペン	1通
22	5	7	前田正名 書簡	前田正名	石原よし	大正4年3月20日	弁当注文の件	墨書	1通
22	5	8	伊藤博邦 書簡	伊藤博邦	石原助熊	30日	久野行之件西園寺侯も同意、明日午前十時頃出発、自動車貸り入方御尽力願う	墨書	1通
22	5	9	樺山資紀 書簡	樺山資紀	石原助熊	[明治]43年9月18日	園芸関係御礼	墨書	1通
22	5	10	矢野次郎 書簡	矢野次郎	石原御母上	明治37年1月23日	私方の都合30日31日以外は約束なし	ペン	1通
22	5	11	柴四朗 書簡	柴四朗	石原助熊・宮之原〔健輔〕	[明治]40年11月26日	不知味柿を鉄道便で送呈	墨書	1通
22	5	12	石原直左衛門 書簡	石原直左衛門	石原近義	10月14日	一字三分頃に大久保氏参る	墨書	1通

石原助熊・よし関係文書

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	数量
22	5	13	山之内一次 書簡	山之内一次	石原助熊	大正3年3月8日	豚児修養之為御地清見寺に預ける	墨書	1通
22	6		妙法蓮華経卷第六						1巻
22	6	1	松方巖 書簡	松方巖	石原助熊	8年8月20日	樺山邸でお願いした朝鮮菜その他菜種各種御礼	墨書	1通
22	6	2	岩村俊弥 書簡	岩村俊弥	石原助熊	2年2月3日	山田君より御面倒なる事依頼早速の御手続有難い	墨書	1通
22	6	3	近藤廉平 書簡	近藤廉平	石原助熊	[大正]3年6月17日	先年ご配慮の温室の件、麻布に所有の地面に植物や野菜を配す件、雇人の件御礼	墨書	1通
22	6	4	益田孝 書簡	益田孝	石原助熊	4年4月23日	昨日初てイタリヤ虫を喰う処を一見、養成を深謝	墨書	1通
22	6	5	本田幸介 書簡	本田幸介	石原助熊	[大正]7年9月27日	宮内君出仕困難の模様	墨書	1通
22	6	6	本田貞子 書簡	本田貞子	石原助熊・よし	[明治]45年4月4日	動物園訪問、二人の子供の近況	墨書	1通
22	6	7	前田正名 書簡	前田正名	石原助熊・よし	[大正]5年12月3日	興津鯛甚好時機	墨書	1通
22	6	8	本間俊平 書簡	本間俊平	石原助熊・よし	9年1月25日	昨夜長時間お邪魔おゆるしを	墨書	1通
22	6	9	前田 書簡	前田	石原よし	6年1月7日	年賀挨拶	墨書	1通
22	6	10	西園寺留 書簡	西園寺留	石原よし	11月29日	御菓子御恵与礼状 兄上様によしなに御礼を	墨書	1通
22	7		妙法蓮華経卷第七						1巻
22	7	1	巖谷季雄 書簡	巖谷季雄	石原助熊	大正9年6月22日	熊谷兄にもよろしく	墨書	1通
22	7	2	和田英作 書簡	和田英作	石原助熊	[明治]45年1月10日	御令姉様の件(死去)御力落としの事と存ず	墨書	1通
22	7	3	本野久子 書簡	本野久子	石原よし	[明治]42年5月23日	露国人の件御礼	墨書	1通
22	7	4	桜井鉄太郎 書簡	桜井鉄太郎	石原助熊	[大正]5年3月14日	長男孝の進路、将来病理研究に従事致したき希望	墨書	1通
22	7	5	赤星快久 書簡	赤星快久	石原助熊	[明治]43年2月14日	興津の女王星が楽しみ	墨書	1通
22	7	6	清野謙次 書簡	清野謙次	石原よし	昭和9年10月25日	これから肺結核の講義、娘連れで赤星が、福島武夫婦が来ている	墨書	1通
22	7	7	やすこ 書簡	やすこ	石原よし	5年ヵ6月26日	経験は尊し	墨書	1通

石原助熊・よし関係文書

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	数量
22	7	8	岩村透 書簡	岩村透	石原助熊	[大正]2年4月27日	苗木御礼	墨書	1通
22	8		妙法蓮華経卷第八						1巻
22	8	1	清野富美子 書簡	清野富美子	石原よし	昭和9年4月20日	上京中の御礼、学会中の多大の便宜に御礼	墨書	1通
22	8	2	山田三次郎 書簡	山田三次郎	大久保利武	10月11日	昨夜下関より特急今朝大阪着、来る十四五日頃著京	墨書	1通
22	8	3	山田彦八 書簡	山田彦八	石原助熊(韓国水原府勸業模範場本田氏方)	6月28日	御渡韓のこと、東郷大将御来島中、老生も7月10日前後より1週間ばかり鎮海湾方面へ御出張	墨書	1通
22	8	4	大久保利賢 書簡	大久保利賢	石原助熊	[明治]44年3月14日	お手紙や結構なる名産御恵贈御礼	墨書	1通
22	8	5	大久保利武 書簡	大久保利武	石原助熊	13日夜	陶庵公の木彫りの件	墨書	1通
22	8	6	牧野伸顕 書簡	牧野伸顕	石原助熊	2年5月24日	日程は30日に	墨書	1通
22	8	7	牧野みね 書簡	牧野みね	石原よし	日付不明	来訪御礼	墨書	1通
22	8	8	大久保利武 書簡	大久保利武	石原峰子	31年か9月16日	17日午後御早々御来臨之程願上候、雨天之節は順延之筈、其説は御通知	墨書	1通
22	8	9	山田直矢 書簡	山田直矢	石原助熊	[明治]45年7月18日	芳子殿御安産之由	墨書	1通
22	8	10	伊集院芳子 書簡	伊集院芳子	石原助熊・よし	4月18日	来る26日先代十年に当り同日午後3時青山にて墓前祭	墨書	1通